

第5次墨田区子ども読書活動推進計画策定に向けて

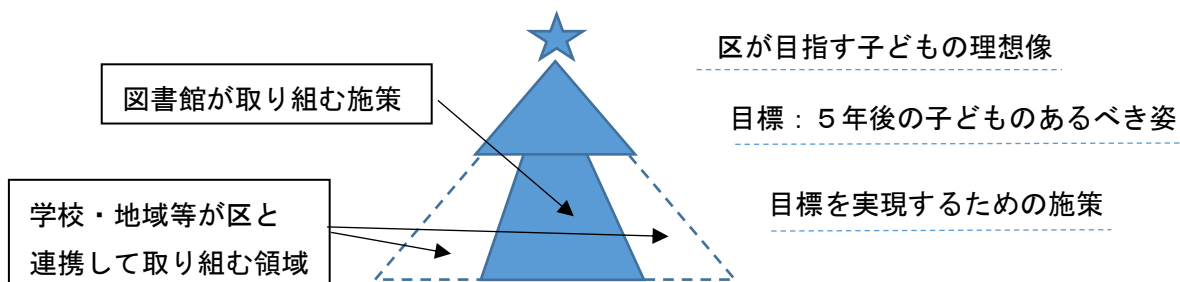
1 計画策定のポイント

(1) わかりやすい計画

- ① 次期計画で目指すべき子どもの理想像・将来像を明確にし、その理想像の実現に向けて、対象となる子どもの年齢期別に目標と取組を明示することにより、誰もが直感的でわかりやすくする。
- ② 子どもまんなか社会の実現のために、指標については業務の投入量でなく、子どもの意識や態様の変化が読み取れる指標を可能な限り選定する。
- ③ 策定にあたっては、教育指針、子ども子育て支援総合計画（R6年度策定）、子ども・若者計画（R6年度策定）との整合を図る。

(2) 子ども主体の計画

- ① 子ども家庭庁の設置や墨田区の『こどもまんなかすみだ』を推進するため、アンケートに寄せられた子どもの声や取組を整理し掲載する等、より子どもの声を取り入れた計画とする。
- ② 図書館だけでなく、子どもを中心に据えた様々な主体（保育園や児童館などの子ども関連施設・幼稚園・学校・地域・ボランティア・家庭・書店等）の取り組みの目標や指針となる計画を策定し、各主体が同一の目標に向けて効果的に「連携」できるようにする。



(3) 外部の意見をより取り入れた計画

運営協議会等関係主体の意見を取り入れながら計画を策定する。

【運営協議会の議題（案）】

- ① 4月：前計画の検証、アンケート結果報告及び策定方針確認
- ② 5月：理念・目標の確定、乳幼児期の施策
- ③ 6月：小・中学・高校生期の施策
- ④ 7月：支援を必要とする子どもの施策、職員の質向上等推進体制強化の施策
- ⑤ 9月：素案の検討
- ⑥ 1月：計画案の検討

※他、策定委員会（関係部署）からの意見聴取、教育委員会や区議会への報告及び区民からの意見聴取（パブリックコメント）を実施。